

課題1
地域での様々な福祉活動、地域貢献に関わる人材育成が必要

基本目標1 地域の人づくり
重点プロジェクト1
新たな担い手の育成、支援

- 民生委員児童委員等をサポートする人材を育成し、地域の見守りや地域福祉の活動を活性化させる。
- 高齢者・障害者・子ども等の分野に捉われない見守り体制をつくる。
- 「在宅高齢者見守り協力員」がより活動しやすくなるよう、制度の見直しと支援を強化する。また、その活動に対するインセンティブの付与を検討する。
- 地域の見守りや声掛けの輪が地域全体に広がっていく仕組みを検討する。

課題4
市民がもっとサービスを利用しやすい環境づくりが必要

基本目標4 必要とする人が必要な支援を受けられる仕組みづくり
重点プロジェクト4
地域連携、庁内連携の強化

- 複雑で複合的な課題を抱える世帯が包括的な支援を受けられるよう、地域連携、庁内連携を強化する。
- 地域によるインフォーマルな支援や福祉サービス等の各種支援のコーディネートを行う。
- 高齢者・障害者・子ども等の分野を限定せず、全ての市民の福祉に関する相談に対応できる体制を整える。
- 庁内連携担当コミュニティソーシャルワーカー(CSW)が既存の対象者別の窓口に出向き、複合的な課題を抱えた相談に対応する。

【重点1】新たな担い手の育成、支援

【重点2】インフォーマルな助け合いの促進と 誰もが立ち寄れる居場所づくり

課題2
身近な地域での居場所づくりや 支え合い活動の活性化が必要

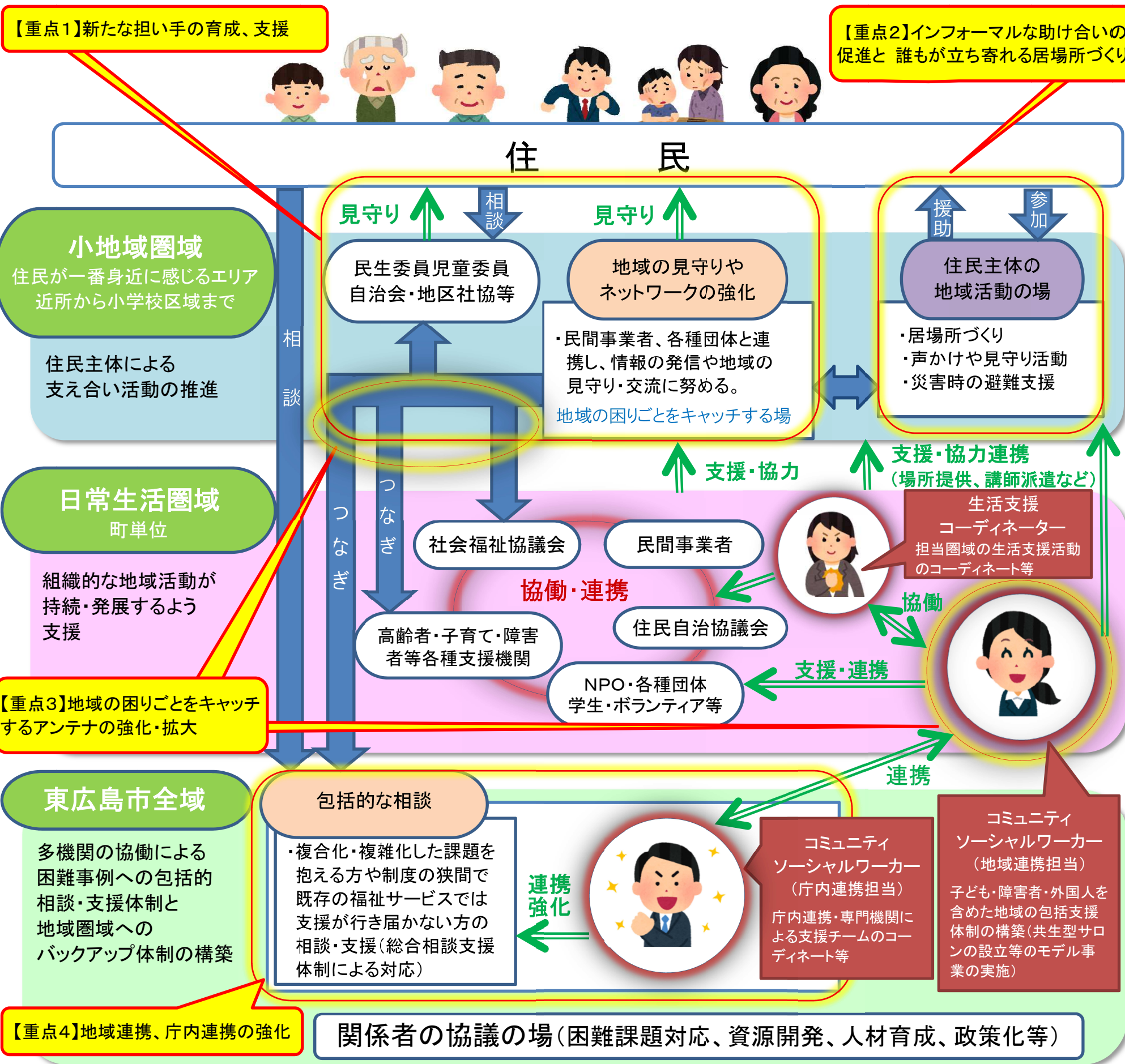
基本目標2 地域のつながりづくり
重点プロジェクト2
インフォーマルな助け合いの促進と 誰もが立ち寄れる居場所づくり

- 買い物等の付き添いやごみ出しなど、日常生活での住民同士のサポートを促進する。
- 地域の支援者(民生委員児童委員等)との情報共有を行う。
- 先進事例が他の地域へも拡大するように、ぐるマルフェスタ等のイベントで広く紹介する。
- 生きづらさを感じている人も気軽に集える「共生型サロン」を設立を推進する。
- サロンで、わかりやすく福祉情報を提供し、困りごとを抱えている人に気づくアンテナを強化する。

課題3
地域の様々な活動者同士のネットワークや地域資源とのマッチングが必要

基本目標3 地域福祉活動を支える環境づくり
重点プロジェクト3
地域の困りごとをキャッチするアンテナの強化・拡大

- 生活課題を抱えながら声を出せない人の早期発見のため、コミュニケーションと拠点づくりをする。
- 支援者等、関係機関と連携し、見守りネットワークを構築する。
- SNS等を活用しながら、地域のコミュニケーションづくりを促進する。
- 既存の活動者がネットワークを構築できる拠点づくりをする。
- 地域連携担当コミュニティソーシャルワーカー(CSW)による地域状況にあったモデル事業を行う。
- 地域の集いの場、活動の場のマッチングを行う。
- 関係機関の連携を強化する。



【重点3】地域の困りごとをキャッチするアンテナの強化・拡大

東広島市全域
多機関の協働による 困難事例への包括的 相談・支援体制と 地域圏域への バックアップ体制の構築

【重点4】地域連携、庁内連携の強化

関係者の協議の場(困難課題対応、資源開発、人材育成、政策化等)